

あなたのお店を拝見 進むべき道は、地元農家に貢献する

農機専門のプロショップへ

藤原農機店

その292

仁多米の産地である奥出雲において家族3人で経営し、地元で高い評価を受け、大規模農業法人等の新規顧客も獲得している藤原農機店(島根県仁多郡奥出雲町大馬木403-1 代表 藤原通夫氏)を訪問した。

島根県奥出雲は、日本の棚田百選にも選ばれた大原新田があり、稲の登熟期の日較差が大きいこと、ミネラルたっぷりの良質の水、仁多米の堆肥を利用し



藤原 章氏

出雲市内から車で約1時間、木次線八川駅から車で約8分。県道49号線沿いに藤原農機店があります。



藤原農機店

創業当時は唐箕や脱穀機などの扱いから始まり農機の発展とともに扱う農機も多種、大型化していききました。取扱メーカーも鈴江農機や、日ノ本・日立などを扱っていました。が、メーカーの農機からの撤退等により、平成21年からはクボタの販売店となりました。また雪の多い地域なので、除雪機の需要が高く冬の主力商品の1

2015年農林業センサスを見ても、農家の高齢化に歯止めが利かない状況で、島根県も平均年齢が70歳を超

つとなつています。その他に小型建機を扱っています。

章氏は卒業後、他所に就職することなく藤原農機店に就職し、メーカー等の研修などに参加しましたが、ほぼ独学で整備知識、技術を覚え、農機整備技能士1級の資格も取得しました。章氏は、お客様への感謝の気持ちを口にされていた。

と、詳しい事情は定かではないということですが、通夫氏の父が戦時中、戦車や発動機の修理・整備を行っていた経験から、復員した後、昭和22年11月に藤原農機店を創業したとのこと。

現在、代表を務める藤原通夫氏は経営の1線から退き、現在は3代目となる章氏が経営全般を任せ、奥様と御子息の勇氏3人でを行っています。

創業当時は唐箕や脱穀機などの扱いから始まり農機の発展とともに扱う農機も多種、大型化していききました。取扱メーカーも鈴江農機や、日ノ本・日立などを扱っていました。が、メーカーの農機からの撤退等により、平成21年からはクボタの販売店となりました。また雪の多い地域なので、除雪機の需要が高く冬の主力商品の1



藤原 章氏と勇氏

える全国でも特に高齢化が進んでいる地域となつています。奥出雲も高齢化の影響が強

デイスカウトスーパーではなく

デパートの気遣い、品質で顧客を引き寄せる

藤原農機店の整備・修理は非常に丁寧で細部にわたって気配りされた仕上がりで定評があります。また急ぎで時間がない時の修理では、短時間で修理する方法を考へ対応するなどの臨機応変に臨める高い技術力と整備のセンスを最大限活かしていることが、好循環を生み出し、新規顧客の心をしっかりと掴んでいるのでしよう。

また、自ら所有する1町歩1反の田んぼで、米やそばなどを作っているのが、農機以外にも追肥のタイミングなど地域の農作業全般の相談に適切なアドバイ

近隣にJAや大手販売店が居並ぶ中、個人販売店が法人・企業に入り込むのは苦勞も多く大変なことだと思いますが、藤原農機店では新規顧客として、農業法人や農業に参入する企業の獲得に成功しています。

農業法人は、従来からの顧客の紹介や口コミからお客様から藤原農機店を訪ねてくることが多いそうです。新規のお客様には最初修理から入り、修理の対応などを評価してもらい将来的に新車農機の購入に繋げています。

購入後のメンテナンスに期待して藤原農機店を選んでくれる法人が多い。選んでくれた法人の期待にはしっかりと応えることで、整備料金は値引きせず、適正

この状況を維持し続けていくためには「デイスカウトスーパーのように安売りするため品質やサービスを落とすような売り方ではなく、百貨店のように、品質やサービスを常に高い水準に保ち、顧客満足度を高めていく店であり続けるための努力を惜しまない」ことです。



整備工場

また現状では中古農機の販売は特に力を入らず、新車販売とその整備を軸に置いて経営していくことにしています。今は中古より新車販売が大事であると判断が働いています。

企業への農業参入など今後の変化に対しては、従来の営業組合のように全員で物事を決めていく組織では対応していきかねるので、プダウンで意思決定できる組織が農業の大規

農機専門のプロショップとして地元農業に貢献していく藤原農機店の、さらなる成長発展を祈念いたします。

個人店が農機専門でいくためには、地域性、競合関係、その他さまざまな条件が合致し、さらに農機店自身も技術、人柄、やる気なども含めた総合力が問われます。今年1月のクボタのディーラーミーティングでも優秀販売店として表彰された藤原農機店は、それらの条件を満たす力があるということを示しているといえるでしょう。

また現状では中古農機の販売は特に力を入らず、新車販売とその整備を軸に置いて経営していくことにしています。今は中古より新車販売が大事であると判断が働いています。

藤原農機店には組合活動についても積極的に関与していただいております。特に島根県商協の購買事業では購買高で毎年上位につけています。組合を利用するメリットを伺うと、支

2度目は脳挫傷で意識不明のまま、病院に運ばれ3日間入院したそうです。その時は地面の鉄板が変形したそう、その衝撃の強さが体へ与えた影響は、体験した人でなければわからないものだったと思います。